

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第2期第2四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社THEグローバル社
【英訳名】	The Global Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 永嶋 秀和
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
【電話番号】	03-3345-6111
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 岡田 一男
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
【電話番号】	03-5908-3602
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 岡田 一男
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第1期 第2四半期 連結累計期間	第2期 第2四半期 連結累計期間	第1期
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年12月31日	自平成23年7月1日 至平成23年12月31日	自平成22年7月1日 至平成23年6月30日
売上高(千円)	2,936,507	6,697,282	15,972,962
経常利益又は経常損失() (千円)	270,449	189,088	1,378,700
四半期(当期)純利益又は純損失() (千円)	180,782	101,960	759,996
四半期包括利益又は包括利益(千円)	181,663	101,206	756,530
純資産額(千円)	2,015,292	3,030,235	2,970,796
総資産額(千円)	12,029,250	15,845,750	14,429,041
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失金額() (円)	14.37	8.11	60.43
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	7.73	58.59
自己資本比率(%)	16.6	18.7	20.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,280,766	361,331	3,523,337
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	136,787	92,530	135,492
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,075,393	531,893	2,934,122
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	786,088	1,481,199	1,403,533

回次	第1期 第2四半期 連結会計期間	第2期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	2.09	6.43

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第1期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 第1期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
5. 当社は、平成23年2月1日付にて普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割を行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。当該変更の内容につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災を発端とした厳しい状況にありましたが、寸断されたサプライチェーンの立て直し、復旧・復興需要による設備投資などの増加により、今後の企業活動は緩やかな回復基調が期待されます。また、欧州債務危機による金融不安や米国経済の減速懸念から、為替相場は円高で高止まりの状態が続き、タイで発生した大洪水による日本企業の現地生産活動の停止など、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界におきましては、住宅ローン減税、贈与税非課税枠拡充、住宅版エコポイント制度や金利優遇制度の復活などの住宅関連施策により需要喚起が期待されます。平成23年12月の新築分譲マンションの契約率は78.9%と引き続き好不調の目安となる70%を超えて推移しました。発売戸数につきましては前年同月比8.5%増、前月比66.3%増の8,017戸となり、底堅い需要に支えられております。

このような環境下、当社グループにおきましては、マンション事業と戸建事業に経営資源を集中し、物件毎にデザイン性や間取り、設備等に特徴を持たせた「こだわり」により、高付加価値・高品質なマンション、戸建開発で差別化を図り、両事業ともに順調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,697百万円（前年同四半期比128.1%増）、営業利益320百万円（前年同四半期は営業損失119百万円）、経常利益189百万円（前年同四半期は経常損失270百万円）、四半期純利益101百万円（前年同四半期は四半期純損失180百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

また、当社グループは従来、セグメント区分としてマンションと戸建の企画・開発・分譲を行う「不動産分譲事業」、不動産販売代理業務及び不動産仲介業務を行う「不動産販売代理事業」、収益用不動産を投資家へ一括売却を行う「不動産ソリューション事業」の3区分を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、マンションの企画・開発・分譲等を行う「マンション事業」、戸建の企画・開発・分譲及び請負工事、土地分譲を行う「戸建事業」、不動産販売代理業務及び不動産仲介業務を行う「販売代理事業」、分譲マンション等の管理業務を行う「建物管理事業」の4区分に変更しております。

当該変更の理由につきましては、当社グループの経営管理の実態を適正に表示するためのものであり、詳細につきましては第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）に記載のとおりであります。

また、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ市が尾」、「ウィルレーナ日本橋浜町」、「AXAS-WIII四谷三丁目Sta.」等、合計186戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高4,158百万円（前年同四半期比247.6%増）、営業利益356百万円（前年同四半期比424.0%増）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「大和市下鶴間プロジェクト」、「練馬区石神井台プロジェクト」、「府中市住吉町プロジェクト」、「東村山市栄町プロジェクト」、「和光市下新倉 2 期プロジェクト」等、合計56戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高2,135百万円（前年同四半期比38.7%増）、営業利益は152百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件について販売代理を行い、東京都区部で10物件197戸、神奈川県で1物件36戸、合計233戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は459百万円（前年同四半期比158.0%増）、営業利益は156百万円（前年同四半期は営業損失 36百万円）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、マンション管理が順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は74百万円（前年同四半期比38.9%増）、営業利益は9百万円（前年同四半期比120.2%増）となりました。

[その他]

その他におきましては、収益用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は58百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は34百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,416百万円増加し15,845百万円となりました。負債については前連結会計年度末から1,357百万円増加し12,815百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から59百万円増加し3,030百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の引渡しにより販売用不動産が102百万円減少したこと、新規物件の取得により仕掛販売用不動産が794百万円増加したこと、及び前払費用が567百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、新規物件の取得に伴い借入金が増加した544百万円増加したこと、買掛金が266百万円増加したこと、前受金が1,144百万円増加したこと、及び未払法人税等が589百万円減少したことによるものであります。

純資産の主な変動要因については、資本剰余金が62百万円減少する一方、利益剰余金が102百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、1,481百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益189百万円を計上した一方、たな卸資産の増加額673百万円、仕入債務の増加額266百万円、前払費用の増加額569百万円、前受金の増加額1,144百万円、及び法人税等の支払額682百万円を主要因として、361百万円の支出（前年同四半期は3,280百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出額45百万円、投資有価証券の取得による支出額15百万円を主要因として、92百万円の支出（前年同四半期は136百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入による収入1,796百万円、短期借入金の返済による支出1,362百万円、長期借入による収入1,440百万円、長期借入金の返済による支出1,329百万円を主要因として、531百万円の収入（前年同四半期は2,075百万円の収入）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	当第2四半期連結会計 期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,576,800	12,576,800	株式会社大阪証券取引 所JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。単元株式数は100株であります。
計	12,576,800	12,576,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	12,576,800	-	288,797	-	175,597

(6) 【大株主の状況】

平成23年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
永嶋 秀和	東京都中野区	3,845,600	30.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505018 (常任代理人 みずほコーポレート 銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都中央区月島4 - 16 - 13)	1,385,200	11.01
永嶋 康雄	東京都港区	1,131,300	8.99
株式会社クリード	東京都新宿区新宿2 - 6 - 4	1,120,000	8.90
MLPFS CUSTODY ACCOUNT (常任代理人 メリルリンチ日本証券 株式会社)	SOUTH TOWER WORLD FINANCIAL CENTER NEW YORK N.Y. USA (東京都中央区日本橋1 - 4 - 1 日本橋一丁 目ビルディング)	711,000	5.65
HSBC PRIVATE BANK(SUISSE) SA SINGAPORE TRUST A/C CLIENTS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	21 COLLYER QUAY #09-00 HONG KONG BANK BUILDING SINGAPORE 049320 (東京都中央区日本橋3 - 11 - 1)	443,200	3.52
BNY FOR ING ASIA PTE BANK (TOKYO RESIDENT) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ 銀行)	ING ASIA PRIVATE BANK LIMITED 9 RAFFLES PLACE,08-01 REPUBLIC PLAZA SINGAPORE 048619 (東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1)	289,300	2.30
奥田 晃久	東京都中央区	274,600	2.18
宮本 晋一	東京都渋谷区	274,600	2.18
NOMURA SINGAPORE LIMITED CUSTOMER SEGREGATED A/C FJ-1309 (常任代理人 野村證券株式会社)	10 MARINA BOULEVARD MARINA BAY FINANCIAL CENTRE TOWER2 #36-01 SINGAPORE 018983 (東京都中央区日本橋1 - 9 - 1)	238,500	1.89
計	-	9,713,300	77.23

- (注) 1. 永嶋秀和は、平成23年9月15日に立会外分売により当社株式314,400株の売却を行っております。これに係る変更報告書について平成23年9月22日付、訂正報告書について平成23年9月28日付にて提出がされております。
2. 永嶋康雄は、平成23年9月15日に立会外分売により当社株式188,700株の売却を行っております。これに係る変更報告書について平成23年9月22日付、訂正報告書について平成23年9月27日付にて提出がされております。また、当該事項により、主要株主の異動に該当するため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第4号の規定に基づき、臨時報告書を提出しております。
3. 奥田晃久は、平成23年9月15日に立会外分売により当社株式41,400株の売却を行っております。
4. 宮本晋一は、平成23年9月15日に立会外分売により当社株式41,400株の売却を行っております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,576,700	125,767	-
単元未満株式	100	-	-
発行済株式総数	12,576,800	-	-
総株主の議決権	-	125,767	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）及び第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日至平成23年12月31日）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,371	1,564,298
売掛金	58,581	8,515
未成工事支出金	19,325	-
販売用不動産	1,153,929	1,051,376
仕掛販売用不動産	8,858,428	9,652,542
貯蔵品	2,052	1,416
前払費用	712,859	1,279,887
繰延税金資産	66,828	77,649
その他	228,917	389,795
流動資産合計	12,677,293	14,025,482
固定資産		
有形固定資産	1,484,715	1,535,877
無形固定資産	9,859	13,654
投資その他の資産	257,172	270,735
固定資産合計	1,751,747	1,820,267
資産合計	14,429,041	15,845,750
負債の部		
流動負債		
買掛金	651,232	917,861
短期借入金	1,807,525	2,241,500
1年内返済予定の長期借入金	2,124,552	4,096,348
1年内償還予定の社債	390,000	340,000
未払金	219,384	254,735
未払法人税等	656,537	67,414
未払消費税等	25,691	32,802
前受金	529,757	1,674,087
賞与引当金	9,229	10,191
その他	91,355	84,928
流動負債合計	6,505,265	9,719,870
固定負債		
長期借入金	4,931,756	3,070,762
その他	21,223	24,882
固定負債合計	4,952,979	3,095,644
負債合計	11,458,245	12,815,514

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,797	288,797
資本剰余金	1,297,910	1,235,026
利益剰余金	1,353,348	1,455,707
株主資本合計	2,940,056	2,979,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	48
為替換算調整勘定	9,217	9,724
その他の包括利益累計額合計	8,923	9,675
新株予約権	39,663	60,379
純資産合計	2,970,796	3,030,235
負債純資産合計	14,429,041	15,845,750

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,936,507	6,697,282
売上原価	2,276,428	5,215,361
売上総利益	660,079	1,481,920
販売費及び一般管理費	₁ 779,798	₁ 1,161,404
営業利益又は営業損失()	119,719	320,515
営業外収益		
受取利息	339	292
解約精算金	286	6,381
固定資産税等精算差額	₂ 4,569	-
消費税等調整差額	-	8,966
その他	4,635	16,861
営業外収益合計	9,831	32,501
営業外費用		
支払利息	120,491	147,087
支払手数料	22,008	15,613
持分法による投資損失	1,059	1,195
その他	17,001	32
営業外費用合計	160,561	163,928
経常利益又は経常損失()	270,449	189,088
特別損失		
その他	3,351	-
特別損失合計	3,351	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	273,801	189,088
法人税、住民税及び事業税	38,310	98,080
法人税等調整額	131,329	10,952
法人税等合計	93,018	87,127
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	180,782	101,960
四半期純利益又は四半期純損失()	180,782	101,960

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	180,782	101,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	247
為替換算調整勘定	992	506
その他の包括利益合計	881	754
四半期包括利益	181,663	101,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,663	101,206

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	273,801	189,088
減価償却費	19,476	30,339
賞与引当金の増減額(は減少)	3,266	962
株式報酬費用	17,319	20,716
受取利息及び受取配当金	357	310
支払利息	120,491	147,087
為替差損益(は益)	72	365
持分法による投資損益(は益)	1,059	1,195
関係会社整理損	3,351	-
売上債権の増減額(は増加)	15,833	50,065
たな卸資産の増減額(は増加)	2,992,352	673,536
前払費用の増減額(は増加)	371,350	569,399
長期前払費用の増減額(は増加)	5,478	2,599
仕入債務の増減額(は減少)	14,611	266,628
未払金の増減額(は減少)	46,722	3,267
未払消費税等の増減額(は減少)	65,589	7,110
未払費用の増減額(は減少)	709	36
前受金の増減額(は減少)	334,967	1,144,329
預り金の増減額(は減少)	29,377	15,819
その他	57,890	146,847
小計	3,093,712	457,879
利息及び配当金の受取額	357	310
利息の支払額	112,642	137,052
法人税等の支払額	74,769	682,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,280,766	361,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,200	-
定期預金の預入による支出	17,627	11,630
有形固定資産の取得による支出	68,367	45,038
無形固定資産の取得による支出	-	6,236
差入保証金の差入による支出	59,337	11,778
保険積立金の積立による支出	1,555	1,976
投資有価証券の取得による支出	-	15,870
その他	100	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,787	92,530

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
担保差入定期預金の回収による収入	-	100,000
短期借入れによる収入	2,001,500	1,796,200
短期借入金の返済による支出	1,150,900	1,362,225
長期借入れによる収入	2,145,000	1,440,300
長期借入金の返済による支出	822,725	1,329,498
社債の償還による支出	52,000	50,000
新株予約権の発行による収入	1,682	-
配当金の支払額	47,163	62,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,075,393	531,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	365
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,342,233	77,665
現金及び現金同等物の期首残高	2,128,321	1,403,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,088	1,481,199

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)																
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">162,475千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">126,345千円</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト販売費</td> <td style="text-align: right;">124,331千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">7,883千円</td> </tr> </table>	役員報酬	162,475千円	給与手当	126,345千円	プロジェクト販売費	124,331千円	賞与引当金繰入額	7,883千円	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">190,375千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">186,148千円</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト販売費</td> <td style="text-align: right;">335,074千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">7,201千円</td> </tr> </table>	役員報酬	190,375千円	給与手当	186,148千円	プロジェクト販売費	335,074千円	賞与引当金繰入額	7,201千円
役員報酬	162,475千円																
給与手当	126,345千円																
プロジェクト販売費	124,331千円																
賞与引当金繰入額	7,883千円																
役員報酬	190,375千円																
給与手当	186,148千円																
プロジェクト販売費	335,074千円																
賞与引当金繰入額	7,201千円																
2 当社販売物件購入者負担の固定資産税等にかかる精算差額であります。																	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)														
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年12月31日現在)														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">963,415千円</td> </tr> <tr> <td>満期までの期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">70,623千円</td> </tr> <tr> <td>担保差入定期預金</td> <td style="text-align: right;">106,704千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">786,088千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	963,415千円	満期までの期間が3か月を超える定期預金	70,623千円	担保差入定期預金	106,704千円	現金及び現金同等物	786,088千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,564,298千円</td> </tr> <tr> <td>満期までの期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">83,098千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,481,199千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,564,298千円	満期までの期間が3か月を超える定期預金	83,098千円	現金及び現金同等物	1,481,199千円
現金及び預金勘定	963,415千円														
満期までの期間が3か月を超える定期預金	70,623千円														
担保差入定期預金	106,704千円														
現金及び現金同等物	786,088千円														
現金及び預金勘定	1,564,298千円														
満期までの期間が3か月を超える定期預金	83,098千円														
現金及び現金同等物	1,481,199千円														

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

当社は平成22年7月1日に株式会社グローバル住販からの株式移転により設立された持株会社であるため、同社の定時株主総会において基準日における同社普通株式の所有状況に基づき配当されると決議されたものであります。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月24日 定時株主総会	株式会社グローバル住販 普通株式	47,163	1,500	平成22年6月30日	平成22年9月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月28日 定時株主総会	普通株式	62,884	5.00	平成23年6月30日	平成23年9月29日	資本剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	不動産分譲 事業	不動産販 売代理事 業	不動産ソ リューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,735,751	96,985	-	2,832,737	103,770	2,936,507	-	2,936,507
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	81,269	-	81,269	2,297	83,567	83,567	-
計	2,735,751	178,255	-	2,914,007	106,067	3,020,075	83,567	2,936,507
セグメント利益 又は損失()	245,513	36,222	11,770	197,520	35,417	232,938	352,657	119,719

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物管理事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 352,657千円には、セグメント間取引消去 2,141千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 350,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	マンシ ョン事 業	戸建事 業	販売代 理事 業	建物管 理事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,158,546	2,135,212	272,467	72,559	6,638,785	58,496	6,697,282	-	6,697,282
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	187,422	1,723	189,145	-	189,145	189,145	-
計	4,158,546	2,135,212	459,889	74,283	6,827,931	58,496	6,886,428	189,145	6,697,282
セグメント利益	356,645	152,022	156,210	9,821	674,700	34,444	709,145	388,629	320,515

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 388,629千円には、未実現利益の調整額等3,465千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 392,095千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、マンション分譲と戸建分譲を事業の二本柱として積極的に事業展開を行っており順調に推移しております。しかし、従来の報告セグメントの事業区分ではマンション分譲と戸建分譲が「不動産分譲事業」に集約されており、今後の事業展開を踏まえ、経営管理の実態を適正に継続表示するために、「マンション事業」と「戸建事業」に区分することが適切であると判断いたしました。「不動産ソリューション事業」については、マンションに係るプロジェクトを「マンション事業」、マンション以外のプロジェクトを「その他」に区分することとしました。また、従来の「その他」を「建物管理事業」と「その他」に区分しております。

変更後の報告セグメントにつきましては、従来の「不動産分譲事業」、「不動産販売代理事業」、「不動産ソリューション事業」の3事業区分及び「その他」から、第1四半期連結累計期間より、マンションの企画・開発・分譲等を行う「マンション事業」、戸建の企画・開発・分譲及び請負工事、土地分譲を行う「戸建事業」、不動産販売代理業務及び不動産仲介業務を行う「販売代理事業」、分譲マンション等の管理業務を行う「建物管理事業」の4事業区分及び「その他」に変更しております。

なお、変更後のセグメント区分により作成した前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失に関する情報は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	マンショ ン事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,196,392	1,539,358	96,985	51,178	2,883,915	52,592	2,936,507	-	2,936,507
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	81,269	2,297	83,567	-	83,567	83,567	-
計	1,196,392	1,539,358	178,255	53,475	2,967,482	52,592	3,020,075	83,567	2,936,507
セグメント利益 又は損失()	68,061	165,681	36,222	4,459	201,979	30,958	232,938	352,657	119,719

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額 352,657千円には、セグメント間取引消去 2,141千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 350,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	14円37銭	8円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	180,782	101,960
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失金額()(千円)	180,782	101,960
普通株式の期中平均株式数(株)	12,576,800	12,576,800
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	7円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	609,213
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成23年2月1日付にて普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割いたしました。これによ

り、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失金額は株式分割を勘案した数値を記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月14日

株式会社 THEグローバル社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長崎 康行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮下 卓士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社THEグローバル社の平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社THEグローバル社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。